

龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会会議録

		記録者	スポーツ都市推進課 宇津野 寛子		
供 覧	部 長	課 長	課長補佐	主査・係長	グループ員
件 名	令和4年度第3回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会				
日 時	令和4年11月15日（火）午後3時00分～午後4時05分				
場 所	龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室				
主 催 者	龍ヶ崎市長 萩原 勇				
出 席 者	[委員] 田蓑健太郎会長，山崎伸夫副会長，時田淳次委員，池田由枝委員，酒井一浩委員，中山武委員，菊地耕委員，三淵和也委員，青木サヨ子委員，上原正和委員，高野美枝子委員，塚本節子委員				
	欠席委員…田畑亨委員，安藤佳子委員，菊地光夫委員，飯島進委員，石川賀杜代委員，太田垣淳一委員，根岸安里子委員，篠塚豊委員				
	[市] 坪井龍夫健康づくり推進部長 スポーツ都市推進課…昇一信課長，杉本桂子課長補佐，記録者				
傍聴人の数	0名				
会議の内容	議 事 (1) 龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画（案）について				
情報公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由			年 月 日
	<input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非 公 開	公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）			
<p>下記については，令和4年11月15日（火）に開催した令和4年度第3回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会の会議録に相違ないことを確認したので署名する。</p> <p style="text-align: center;">会 長 _____</p> <p style="text-align: center;">委 員 _____</p> <p style="text-align: center;">委 員 _____</p>					

	発言の内容（要旨）
事務局	〔開会〕 定刻となりましたので、ただいまから令和4年度第3回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会を開催いたします。開会に先立ちまして、当審議会の会長であります田籾会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。
田籾会長	〔会長・挨拶〕
事務局	ありがとうございました。それでは会議次第に従いまして、議事に移りたいと思います。今回の議事の進行につきましては、龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会条例第6条第1項の規定により会長にお願いしたいと思います。田籾会長よろしくお願いたします。
田籾会長	はい、よろしくお願いたします。初めに、本日の審議会は委員総数20名のところ12名の委員が出席されております。過半数が出席されていますので、会議は成立していることを宣言いたします。 次に、会議録署名人の指名をさせていただきたいと思います。今回は時田委員と池田委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
時田委員 池田委員	〔両委員・了承〕
田籾会長	よろしくお願いたします。お二人には会議録が作成され次第、事務局から連絡させていただきますのでよろしくお願いたします。 早速ですが、議事に入りしたいと思います。議事、「(1) 龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画（案）について」事務局より説明をお願いいたします。
事務局	(1) 龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画（案）について 〔会議資料に基づき説明〕
田籾会長	はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問やご意見がございましたらお願いたします。 それでは、今、委員の皆様が資料に目を通していただいている間に、私から一点申し上げます。33ページの主な取組5「運動部活動の地域移行に向けての検討・外部指導者の活用」というところです。これは、段階的に休日における部活動の地域移行に取り組んでいく旨を示しているわけですが、主な取り組みとしての検討や外部指導者の活用はどこの部署が担当する予定でしょうか。
事務局	はい、現時点では、学校の部活動については教育委員会が担当しています。今後3年間で休日の部分について、学校教員から外部指導者に移行する計画で、今年度から試行的に、外部指導員1名を1年間の休日の部活動に派遣するための予算化もされているようです。しかし、1年程度実施するということですので、その後については現在、検討中です。 また、今後における部活動の大会への参加については、民間のクラブも参加していくという方向性は見えていますが、具体的な方法等については、正直、事務局でもまだ見えていません。今後、地域移行という点においては、NPO法人クラブ・ドラゴンズやスポーツ少年団、スポーツ協会などから指導者を派遣していくべきではないかと考えているところですが、それ以上の具体的な内容は出てきておりません。
田籾会長	ありがとうございます。前回の審議会でも委員から意見が出ていた部分かと思いますが、やはり予算の問題と指導者における資質の問題があります。そして教育委員会で課題をクリアし進めていくということですが、スポーツにも関わることであり、この次期計画に記載していますので、実際に蓋を開けてみたら、あまり機能していないということにならないよう、担当部署にその旨お伝えいただくようお願いいたします。 その他何かございますか。

青木委員	49 ページの主な取組 26「女性のスポーツ実施率の向上」について、新規と記載されていますが、具体的にどのようなことを考えているのか、教えていただきたいと思 います。
事務局	現在も既存事業で実施している事業ですが、ニューライフアリーナ龍ヶ崎の施設内 において施設利用者が事前登録を行った上で、幼児の一時預かり保育を行っていま す。 また、この審議会の場合、スポーツ団体における女性の指導者などからも色々ご意 見をいただきながら、女性がスポーツや運動に取り組みやすい環境を整備して参りた いと考えています。
青木委員	今の話を聞いた限りでは、具体的な取組は進んでいないと感じました。産後の母親 が参加しやすい取組などあれば分かりやすいと思ったのですが、女性の問題は多岐に わたるため、市として何か具体的な事業があるのかと思ひ質問しました。
田蓑会長	これでよろしいですか。
青木委員	まだ具体的には無いようですので、何か取組が考案されましたら、また教えてくだ さい。
田蓑会長	今のご質問をお聞きして、少し別な問題になるのかと思ひますが、いわゆるジェン ダーフリーについて、現代では性別は問わず、LGBTQ+も含めてジェンダーフリ ーの取組が進んでおり、現在、流通経済大学でも同様に取組を進めているところ です。SDGsについては、比較的取り組みやすいことですが、スポーツの分野におい ては、LGBTQ+に対して何をどのように取り組めばよいのか非常に難しい部分 です。オリンピック・パラリンピックでもLGBTQ+のクラスについて検討している 報道がありましたが、次回の課題になっていくのではないかと思ひています。今策定 している次期スポーツ推進計画では、女性のスポーツという表記となっていますが、 決してLGBTQ+の方々を無視しているということではなく、個人的には今後の 様々な社会の変化に応じて、随時修正していくスタンスで考えていくことが良いの ではないかと思ひております。 その他、ご質問はございますか。
山崎副会長	44 ページにある「現状と課題」の部分で、2020 東京オリンピック・パラリンピッ ク競技大会の事前キャンプに訪れた海外チームとの交流について記載されています が、東京オリンピックにおけるレガシーの継承として、今後の交流をどのような方針 で進めていくのでしょうか。当市には、柔道チームが事前キャンプに来ましたが、コ ロナ禍の影響で、ほんのわずかな交流しかできませんでした。交流事業のために創設 された龍ヶ崎市スポーツ交流協会でしたが、オリンピック開催後に解散してしまった ことに対して、私も少し関わっていた身として非常に疑問を持っています。 本来であれば、オリンピックのレガシーとして、同協会これから様々な交流を考 案していくべきだったと思ひますが、市の方針として同協会を廃止したのにもかかわ らず、どのような意図で次期計画に登載したのか、また今後どのように実施してい くつもりなのか説明してください。
事務局	龍ヶ崎市スポーツ交流協会については、2020 東京オリンピック・パラリンピック競 技大会の終了に伴い、解散になっています 2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会後、流通経済大学では、国際的な スポーツの受入を検討していると伺っています。キャンプという趣旨ではございませ んが、今年度においても、オセアニア地区の柔道チームが当市に来る予定があり、そ の受入のために、市として予算化をしておりました。実行委員会のような組織を立ち 上げて支援をしていこうという動きがありましたが、新型コロナウイルス感染症の影 響で中止となってしまいました。 2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会のために設立した龍ヶ崎市スポ ーツ交流協会は解散となりましたが、オリンピックレガシーとして新たな形で市として 支援していきたいと考えております。

山崎副会長	質問の内容が違います。私は、実際にスポーツ交流協会のメンバーとして活動してきましたが、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催後に同協会を解散させて、改めて違う方策で交流を行うことについて、具体的にどのような組織が主体となり、どのような形で実施するのかについてお聞きしているのです。
事務局	組織については、市が介入せずに民間組織に作っていただくことを考えています。
坪井健康づくり推進部長	龍ヶ崎市スポーツ交流協会については、基本的に東京オリンピック・パラリンピック競技大会を一つの目的として創設されているもので、同大会が終了したとともに一定の役割を終えたことから解散になった旨を前担当から聞いています。今後、どのような形で交流を行っていくかについては、まだ始まっていない段階ですので、詳細は決まっています。また、市の担当課がどこになるのかについては、スポーツの部分であれば基本的にはスポーツ都市推進課が検討しながら調整等を進めていきます。 今回、海外の柔道チームを招く予定であったことについても、当市の柔道協会などと連携しながら行っていく方向で進めていきましたので、今後も引き続き調整しながら実施していこうと考えています。まとまらない答えで申し訳ございません。
山崎副会長	すみませんが、私がお聞きしている趣旨と違います。確かにオリンピックでの交流も目標の一つではありましたが、当初はスポーツ交流協会の意義としてオリンピックだけの協会であるということは謳っていません。スポーツ振興における国際交流という意味合いの部分が大きくクローズアップされており、高校生まで対象を広げて募集していました。コロナ禍の影響で中途半端な状態で、ほとんど何も交流することなく、オリンピックが終わった後に解散となってしまいました。一方的に市から解散しますということだったので、私自身、高校生に対して申し訳ない気持ちを持っています。私としては協力してきたつもりなのに、とても裏切られた想いが強いです。そういう一過性のものではなく、本気でスポーツ交流を続けていくつもりなら、組織云々ではなく、この計画において、具体的に今後の方針をきちんと出していけないと、ただ計画に謳っているだけで、また同じことの繰り返しになってしまいます。 イベント毎に集めるだけでは継続できないと思います。計画に搭載する以上は、きちんとした政策にすべきだと思います。現状を把握した上で課題を抽出し、その点をきちんと考えておかないと、協力する側にも迷惑をかけてしまうと思うので申し上げます。
事務局	承知いたしました。ありがとうございます。
田蓑会長	今、山崎副会長がお話しされたことについては、他の自治体も同じ事態に陥っていると聞いております。ただ一方で、国際試合をやる際のキャンプ地として、ワールドカップやオリンピックが終了した後も、多少選手に来ていただくなどなんとか繋いではいませんが、やはりオリンピックのような大きなイベントが過ぎてしまうと、「もう終わり」といった状況です。山崎副会長がおっしゃったように、交流という観点からすると、決して大きなことをしなければならぬということではなく、小さいことで良いのでしっかりと継続できるようにすることです。来年度に入れば、現実的にポストコロナの時代が到来すると思います。合宿の誘致なども計画に入っていたかと思うますので、方策についてはぜひご検討いただければと思います。 それ以外についてございますか。
菊地委員	先ほどの部活動における地域移行の部分ですが、令和 5 年度以降、教員と部活動を切り離して運営していくスタイルを段階的に進めていくという内容だったかと思いますが、現在、私が茨城県から聞いている限りでは、まだ茨城県においては明確な方針が固まっていないということを伺っています。そうすると、県の方針を受けて市の指導課が中心となり、学校と連携してスタイルを決めていくという認識でよろしいでしょうか。現状については、先日行われた中学 1・2 年生のサッカーの大会では、既に生徒の一部はクラブチームに移行しています。例えば、部活動のサッカーは、大会の時には既に連合チームを組まなければ生徒が確保できない状況です。サッカーで日曜日に練習するにしても、必要人数に満たない 5 人で行っているのが現状です。例えば 1 カ所に集まって練習する場合に教員が指導できないとすると、外部の方にご協力い

	<p>ただくことになると思います。もちろん各中学校の状況や生徒数については学校で管理していくことになるかと思いますが、いつどこに集まり日曜日に親が送迎するのか、または市でバスを用意するのか等の準備作業を、指導課を中心に学校とスポーツ都市推進課の方で連携してやっていただけるのでしょうか。そして、その中心を担うのが指導課という認識でよろしいのでしょうか。今後、中学校体育連盟や中学校が行政とどのように連携していけば良いのかといった方向性が見えてくると、各学校の学校長も安心するのではないかと思います。茨城県の方針が決まっていないので難しいと思いますが、その辺りを教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>事務局では、茨城県教育委員会からの通知やスポーツ振興部門からのチラシを見て情報収集をしており、方針が示されるのを待っている状況です。茨城県教育委員会では、令和5年度から7年度の3年間で、休日の部活動をこれまで担ってきた先生から別なものにシフトしていくというようなことが書かれていました。現在は、それについては指導課を中心に行っていますが、令和5年度以降は、違う部署に変わる可能性があるかと聞いています。現在は、当市スポーツ協会の事業として、既に外部指導者派遣事業で指導者の派遣を行っていますが、メインで教えるのではなく、学校部活動の顧問のフォローというような形で行われています。具体的にその辺りの議論を行っていきたくは思っていますが、なかなか進んでいないのが現状です。</p>
菊地委員	<p>ありがとうございました。</p>
田蓑会長	<p>県の動きが遅いと、市としても動きづらい部分があるかとは思いますが、龍ヶ崎市は、他の自治体と違って大学もありますし、総合型地域スポーツクラブもあります。それぞれのスポーツ団体の方々も積極的に活動されていますので、その人的資源を活用して、多少費用がかかってもモデルケースを目指すような形も一つの考え方としてあるのではないかと思います。県は県で、市は市で独自でできることが何かないのか検討していただき、この審議会にはNPO法人クラブ・ドラゴンズのメンバーもいますので、ぜひ、その点について話し合ってくださいと思います。その他ございますか。よろしいでしょうか。それでは特にその他の議事としてはございませんか。何か委員の皆様方からございますか。</p>
青木委員	<p>市役所の組織がよく分からないのでお聞きします。例えば、「まちの魅力創造課」や「シティセールス課」という課が記載してありますが、あまり聞いたことのない課です。どのようなことをしている部署なのでしょう。</p>
事務局	<p>まず、まちの魅力創造課は今年度新しく作られた課ですが、秘書課から一部の事業を引き継ぎスポーツツーリズム事業について行っています。また、定住促進や牛久沼の活用関係をシティセールス課から引き継いで行っている課です。スポーツツーリズムの一部については、スポーツ都市推進課でも所管しています。シティセールス課では、主に市の広報紙りゅうほーなどの発行や広聴など行っている課です。</p>
坪井健康づくり推進部長	<p>今年度は、企画課で市の次期最上位計画を策定しており、間もなく決定します。萩原市長は、昨年1月に就任しましたが、今年度新たに市の最上位計画を作成し、それに合わせて組織を改編して、実質的には令和5年4月からが市長の想いを組織や事業に反映したスタートの年になる予定です。そのような状況もありまして、現在調整しているところですが、組織はまた変わります。先ほどからお話が出ていました部活動関係についても、教育委員会の中ではありますが、指導課だけではなく、別の部署も一緒に考えて連携する部署を検討するなど、来年4月に向けて調整中です。</p>
田蓑会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
青木委員	<p>はい。わかりました。</p>
田蓑会長	<p>他に無いようであれば、事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>慎重審議ありがとうございました。本日ご審議いただきました計画案の内容で、令和4年12月1日からパブリックコメントを実施したいと考えております。</p>

	<p>次回の審議会は令和5年2月頃の開催を予定しております。</p> <p>なお、当審議会における委員の任期につきましては、11月末で2年の任期が満了となります。ほとんどの方が継続して委員を引き受けていただいておりますので、今後ともよろしく願いいたします。委嘱状につきましては、例年12月の会議の際にお渡ししておりましたが、次回の会議開催は2月を予定しており、間が空いてしまうことから12月に入りましたら、各委嘱状を郵送という形で交付させていただきます。</p> <p>それから、お知らせとしてお手元にお配りしたチラシをご覧ください。</p> <p>11月23日(水・祝)午前10時30分から午後5時30分の予定で、龍ヶ崎市が誇るプロフリークライマーの野口啓代さんの初プロデュースの大会「AKIYO'S DREAM」が開催されます。現在、市として運営面での支援を行っているところです。</p> <p>開催内容につきましては、ニューライフアリーナ龍ヶ崎のサブアリーナで、クライミングの体験教室及び大会の決勝戦の模様をパブリックビューイングで実施する予定です。</p> <p>コロナ禍でありますので、人数制限等を行った上での観覧となるため、一般の方は会場に入れませんが、大会の様子は、ネットの動画配信で見ることができます。</p> <p>次に、龍ヶ崎市スポーツ推進委員が考案した、龍ヶ崎市独自のニュースポーツである「第1回龍ヶ崎市まいりゅうコロコロ大会」については、11月27日(日)にニューライフアリーナ龍ヶ崎のメインアリーナで実施する予定です。</p> <p>最後に、FIFAワールドカップカタール2022パブリックビューイングについても11月27日(日)午後7時から大昭ホール龍ヶ崎で実施する予定です。先着順で400名、インターネットで事前申込みとなっております。龍ヶ崎市出身の中山雄太選手は残念ながら怪我で欠場になりましたが、本市にゆかりのある流通経済大学出身の守田英正選手が選出されております。みんなで応援して盛り上げていただければと考えております。お知らせは以上です。</p>
	<p>それでは以上をもちまして、令和4年度第3回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会を閉会させていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。</p>